## 福島県地域公共交通計画の変更について

## 1 概要

- 利便増進実施計画 (バス路線等の再編・見直し) に関する修正
  - ・ 県北圏域及び県中・県南圏域において、令和7年6月11日付けで大臣認定 を受けた利便増進実施計画を一部変更することに伴い、令和8年4月以降の地 域間幹線系統の内容を反映。
    - 【p44(2)圏域別の地域公共交通ネットワーク将来像、p83~92【別表】地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統確保維持費国庫補助金)の活用について】

## 2 計画改正の内容

別紙「新旧対照表」のとおり

 $^{\circ}$ 

変更後

84

変更前

補助事業の活用区分	(対要炎の用活業事他補) 封要炎の持継・帰勤及反信労の線路各	名者業事	点殊·点:5	おり	海田
地域間幹線系統補助	線器スパル結合間を関係して同々の中の中間と図書を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を選出を	<b>郵交</b> 島幹	·口東观島語 (中程) (中程)	山千立大园 線程競由経	JE 引
地域間幹線系統補助 (利便増進特例を活用)	し行並。もで解認ないご結る間を出し葉市董中2市島番、お旅系結と 市 重サフリュ主。もまいてしい重が線計島開た回の直接-80年三年了 では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年では、10年に、10年に、10年に、10年に、10年に、10年に、10年に、10年に	歷交通辭	·口東視急辭 川程註	多川線 第川線	北
地域間幹線系統補助 (今和7年10月~ 月の輪経由薬川線に 統合予定)	J 計並。もで線器ないだ。結ま間拠地原果市蓋軒3市島島、は緑系核世間維充13至。やまいア」計画が線計島開海回の直接-804三葉下效準の機動は13線 が結系。やまいアを支値線の月型加速は指導が J 2 段手値線の記生常日の等額能・準能・健能、いはア」地立が誘病や でまれら他水が結構の計画、2・425を17れき用除下	更交通辭	<ul><li>・口東帰急部 たい 泉泉 ーをくす</li></ul>	格道線 目の轉接甲	기F 발
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を活用)	市両。ヤケ縣路スパル結を間域地山霊市戦争2市島語、11線系統当 、5支を優終の~地街市心中の市同られる地球大市島語、今優終の間 の等詞逝・学逝・健重、いは2つ地立な詞森や效学の楼敷むコ繋ぶ熱系 低末が持難の計重、それ25ペアルが用は2つ3段手値終の託生常日 下まれる	壓交急辭	· 口東陽島語 前陽田樹	由释放大縣田樹	구두일
地域間幹線系統補助 (利便増進特例を活 用)	間地街市心中の市同公(西外岩田) 製地外岩市公本二、山蘇系慈世 終の武主常日の等消腫・学腫の下線公辨系コ重。す下線路スパに結ま。 。 すまれら他なや計離の計運、らんとこるい下れを用除下して與手値	壓交急部	而業営3本二 而支升告,	由拏平大縣京小	af省
地域間幹線系統補助 (利便増進特例を活 用)令和7年10月~	間地街市心中の市同ン(西外岩目) 製地外岩市体本二、却蘇系就世 緑の武主常日の等詞画・学画のケ線公辨系コ主。すケ線路及が光結す 。 すま水らぬ泉が結業の計画、グペンこるいア水を用降アンン段手値	壓交急辭	而業営 <b>公本</b> 二 而支升告・	粉光小	afil
田) (利便増進特例を活 地域間幹線系統補助	間地街市心中の市同凶(西咏東日) 複載 味東市 体本二、 お孫系 結 世面 で 東 の 大	壓交島副	而業営公本二	針道経由 線	JF省
田) (刘值鴻蓮特例を活 時期間幹線系統補助	当該系統は、本公市追別地区と同中の中の市の大学に対象を設定を ・学画の下線公路系。もましたサクマもに登場に対して を を を を を を を を を を を を を	壓交急辭	元本松営業所 東温沢連・	線沢鷙	7F Y

補助事業の活用区分	各路線の役割及び確保・維持の必要性(補助事業活用の必要性)	名者業事	点線·点鼓	多酸铝	海 圏
祵澒瞐軮糝愙糇墉莭	線路スパズ。結3間地街市心中の市同3因地種頒市急請、抗熱系茲世の等別重・準重・僅重、いは7J由鋒3別病園州学大将因立界急群。下7 後末が持難の計重、それ25/1245用序7J2鎖手値終の託主常日。 でまれる	<b>郵交島</b> 駅	· 口東陽島辭 西程湖	山そ立大図 線程顔由経	北事
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を活用	山 京本、本文 総 は ない	壓交島酐	·口東观島駅 川程武	※川線 目の輪経由	<b>非</b> 省
地域間幹線系統補助 (今和7年10月~ 月の輪経由梁川線に 第合予定)	山 市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>颩交島</b> 馿	・口東帰島暦 スシ泉泉 - 8マサ	佬追線 目Ω轉矮甲	北県
地域間幹線系統補助	市両。も下線路スパ次,線多間減速山盃市奎中2中息器,以線系茲芒 、友支健等のへ独街市か中の市同され区地敷大市島語,今健等の間の等調重・学重・健重、いはアノ地立な誤酶や效学の機敷却口線公療系 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	重交通配	·口東观島辭 前鴉田街	由發或大 縣田樹	北哥
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を活用	間地街市心中の市同ス(町外岩田)域地外岩市公本二、対線系統世 終の託主常日の等割重・単重の下線公線系コ主。す下線路スパ次諸多 。すまれら後来が持難の計重、さんなこるいて水を用除てリコ段手値	壓交島鄙	而業営24年二 而支升告,	由経平大 繋浜小	北事
地域間幹線系統補助 (利便増進特例を活 用)令和7年10月~	間地街中の中の市回ス(田外岩田)は東京本十二、京城系統に 等の形主第日の等別所・単原の下線公線公路では、 またといて、 本本がの本がは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	脈交島酐	而業営2本二 而支升告:	<b>黎</b> 美小	北県
田) (約僅攝彈特倒多沒 神禪閣斡雛影經期即	当該系統は、二本松市東和地域(旧東和田)と同中の中心市街地間 を統式。唯一のパス路線です。東和地域には鉄道がなく、系統沿線で通 等・通院等の日常生活の移動手段として利用されていることがら、運行の 等・通院等の日常生活の移動手段として利用されていることがら、進行の でいまれるのあります。	<b>重交島</b> 郡	所業営204本二 效学小环東・	計道経由 效学小 <b></b> 球線	北県
(判極增進特例を活 (判極增進特例を活	路太江に記る間本街中の中の中国と国本の本本工、本族系統に 一本・本学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学	極交島酐	二本松営業所 - 塩沢温泉	躲沢歖	北事

 県地域公共交通計画
多

変更後

% | | | |

86

新旧対照表

変更前

公区用式の業事旭醂	各路線の役割及び確保・維持の必要性(補助事業活用の必要性)	名者業事	点殊·点珠	多線器	至 [
地域間幹線系統補助 (本7 年 10 月~ (玄千合統二線春三	当該系統は、郡山市、田・田・田・田・田・田・郡、 ・京、 ・京、 ・京、 ・京、 ・京、 ・京、 ・京、 ・大、 ・大、 ・大、 ・大、 ・大、 ・大、 ・大、 ・大	壓交急群	· 旗塊山郡 前塊15份	緣15台	中制
田) (刻值講妹 (到個報報 (到面報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	当該系統は、郡山市と三春町間を結ぶぶ路路線です。並行して7日磐 地球が運行しています。鉄道駅から離れた地域住民の三番町から郡 大田は2日の海野・通洋・通際等の日常生活の移動手段にしています。 はまないのでは、通り、選手を表します。	<b>函交</b> 島縣	郡山駅前· 田村警察署	縣春三	中制
田) (利便増乗特例を活用 (利度	コ暗南   市春三。も、ア   郭紹太〉、だ。   おき間   市春三と中、   市本   市本   市本   市本   市本   市本   市本   市	<b><u>厳交</u>島</b> 郡	都山駅前· 電村警察署	皇 秦 皇 秦 皇	中省
地域間幹線系統補助 (利便增進時例を活用)	暗一。も了解紹太が応緒を間間川子・林川王・市川買家、は蘇系結当 あら、本林川王や同川子。ヤまハアリ子並が縁帯水兄してリ子並が間図の 下夫支き健終の男針演社は北端か、根遺経、等用序消離のへ面は川質 でまたらない。	<b><u> </u></b>	· 前鴉川寶貳	空川線 婁幔矮甲	中省
(利便增進特例を活用) (利便增進特例を活用)	当該系統は、郡山市と平田村間を続い。中田村 当該系統は、郡山市と平田村から郡山市の一郎、 一郎、 一郎、 一郎、 一郎、 一郎、 一郎、 一郎、	<b>函交</b> 島群	· 请课山郡 田鰲土	建田籍	中影
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を活用)	アンデ並。本で経験などの一部に結び、 を表しています。 を発達を を発達を を発達を を発達を を発達を を発達を を発達を を発達を を表していまいます。 を発達を を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 を表していまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいていまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいます。 をまいまいまいます。 をまいまいまいます。 をまいまいまいまいます。 をまいまいまいます。 をまいまいまいまいます。 をまいまいまいます。 をまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまいまい	<b><u> </u></b>	· 前視山郡 前帰四祿程小	線種小	中省
地域間幹線系統補助	当該系統は、田村市常業地区(旧業業用)・都路地区(旧業業用)を 同中街地間を続ぶべる路線です。主に業業地区・中間を の移動手段として では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<b>郵交</b> 島郡	· 前界 5-66 車車並古	早項籍	中省
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を活用)	買原。もで線路スパ次・結ま間回川子・林川王・市川買派、山線系結ビ ハア文支を値縁の男主旗地式水糖さか源重接、等用呼消重の一面よ川 。 もまれらぬ鬼がお耕郷の計画、らかなこる	酥交島髜	· 循環川環東	也 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母 母	中省

公国用式の業事加齢	各路線の役割及び確保・維持の必要性(補助事業活用の必要性)	名者業事	点殊·点珠	多數器	河 图
地域間幹線系統補助 他域間幹線系統 (令和7年10月~ (玄子合統3線春三	。でア線路スパの一部に、結3間市村田・四春三・市山郡、お線系慈世の日針敷地され端らや帰道線。すまいアしい重な線東越響別してしい並成。 面、いはアし地立、公線高春三立四春三コ線公、代記をいてえ支き値移 ではかっているいでは、 ではかっているいでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<b>郵交</b> 急辭	· 循現山郡 前現15億	泉終Ⅰ〒台冊	中省
	運行の維持か <sup>4</sup> 次められます。			- 1	
海域間幹線系統補助 (利便増進特例を活用)	響別してした並。すで解認ないに結る間で書きる中間を表えない。 では、他者三の目の強力が強力を関する。 を関係を関係を通信のできる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	<b><u></u></b>	· 循陽山郡 署察營林田	隸春三	中省
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を活用)	口暗南	<b></b>	部山駅前· 田村警察署	由発輔高	中省
地域間幹線系統補助 (利便増進特例を活用)	暗一。もで解紹スパ次。結ま間同川子・村川王・市川買家、お,森系結当 取ら、4村川王や同川子。ちまハアして連が線帯水名Lアし行並で間図の 下支支金健等の男主対はは、4規算、2世間を である。 では、2年では、2年では、2年では、2年では、2年では、2年では、2年では、2年	顏交島辭	· 商鴉川寶貳	空川線 專侵経甲	中省
地域間幹線系統補助	本の本で、大学と、「一般的など、「一般のでは、「一般のでは、」を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	壓交島部	· 前限山郡 田菱土	黎田墅	中省
地域間幹線系統補助	アン計並。本下線路スパの一部25結2間で置いる市山郡、結落系結と を支値移の另到強地され締らが帰勤難。 すまいアン計画が線東越離別 用降アンン段手値移の学配のへ対学等高種小立県コ主、か取るソフト ではないアムリンが表現を表現がある。 ままれらぬ水は特がながながながないであれます。	<b>重交島</b> 郡	· 值湿山郡	<b>線種小</b>	中県
地域間幹線系統補助	当該系統は、田村市常葉地区(旧葉葉町)・都路地区(旧都路村)と 同中街地間を結びいた路線です。主に常葉地区・部路地区からの通学 の移動手段として利用されていることから、日常生活の移動手段として 運行の維持が、根かられます。	重交島郡	· 前限15份 車車並占	料理報	中省
地域間幹線系統補助 (利便增進特例を浸用)	資産。もで線器ない心緒き間同川子・村川王・市川買乗、山線系禁ビ いア夫支を値縁の男針製地式水蓋さか湿道差、等用修消腫のへ面な川 ですま水らぬ来が計解の計運、されてこる	蘣交島辭	· 循環川寶康	也 会 母 母 母 母 母 母	中省

変更後

\$\ \ \ \

87

変更前

田) (利便增進特例を活 地域間幹線系統補助	川質真にま。もで繋絡とかぶは3間中川質原2中、郡人族系統当台で東京、東京の中央を連り、東京の中央を持ち、中の中の中の中の東京・東京の東京の中間の中の中では、東京の東京の大田では、東京の東京の大田では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京では、東京	<b>郵交</b> 島酥	· 前児山郡 聡〇季	·公中公司 中国台副向 線	中省
地域間幹線系統補助 (利便増進特例を活用)	で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	<b>郵交</b> 島酢	帰田孫智小 業営川子・萌 前初	線川马·種小	中省
地域間幹線系統補助	と該条線は、石川町・平田村間を結ぶがス路線です。主に学校法人 石川高等学校や県立石川高等学校への通学の終動手段として利用さ 石川高等学校や県立石川高等学校への通学の終動手段として利用さ	<b>郵交島</b> 哥	現川 D 対撃 内 水 散・前	黎田嶽・川・	中省
地域開幹線系線補助 (利便増進特例を活 の日の1年70年の目)	接おコ間調古。すア繋器スパ次酵き間間調古・間川石、お蘇系刻と の形生常日の等評価・学通・健重のへ面な恒川石らや四興古、>なや単。 。すま水らぬ氷や計鱗の行運、らや3こをハア水を用序アコS段手値移	麗交島鄙	りこの	移田コ	中省
(開 ) (田 )	幾却コ1回顕古。す下繋器スパ次,赫多間回顕古・西川石、北蘇系落芒の形生常日の等辨通・学通・健重のへ面古四川石らや四顕古、ンなや道。すま水らぬ水や結難の計画、らか2こをハア水を用呼アコン段手値移	脈交島鄙	り いい とう とう とう とう とう とう といまい かい はい とう とう といい といい といい といい といい といい といい といい	料田貫け	中事
地域間幹線系統補助	栄天。も了解器スシンに結る間林栄天・四子鏡・市川質原、力熱系結と ・学・・一本で、クラットでは、 ・学・・一部・一部で、クラットでは、 一部では、ファットでは、 一部では、アラットを 一部では、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で、 一部で	<b>郵交</b> 島郡	· 簡別川賢彰 主章	審工籍	中省
地域間幹線系線補助 (利便性強強 用)	間地街市心中の市同ス(同23日)区地区場上川道県は、道線では、近路での中の市回ス(回23日)区等に受力を設定して、近日の地域は、海域の大学、河南には、近年により、東京の東洋の大学、河南には、近洋の東洋の大学、河南には、近洋の東洋の大学、東京の東洋の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の	顏交急辭	· 前賀川駅前 · 東車	本の崎経由 最高線	中省
地域間幹線系統補助 (令和7年10月~ 統合予定)	間地街市心中の市同ン(同窓易田) 図地窓易市川覧頂, Ji 線系落芒の記出第日の等詞腫, 学重のさな図地窓易コ主。まで線路を外沿線を でまれらぬ家な計画の計画、 うなこらいて水さ用はてつい場手値移	顏交島卧	· 前賀川駅前 · 東車 密身	化公 模田 接田 接田	中制
地域間幹線系統補助 (今和7年10月~ (室予予度)	当該系統は、須賀川市長沼地区(旧長沼町)と同市の中心市街地間 を結ぶがス路線です。主に長沼地区からの通学、通院等の日常生活の 移動手段として利用されていることから、運行の維持が求められます。	<b>郵交</b> 急酢	· 前堤川賢貳 車車 87 身	<ul><li>关田野経由 長沼線(→ 泉田経由長 原線</li></ul>	中书
補助事業の活用区分	各路線の役割及び確保・維持の必要性(補助事業活用の必要性)	名者業事	点绿·点线	各線器	] 译

1	。 すまかられます。			縣		
	の計画、それてるいて水や用味てして料毛値移の出土常日の等跡い買	阿火四里	かい かん	地田台制向	中省	
地域間幹線系統補助	今健 ・学  ・ で  ・ で  ・ で  ・ で  ・ で  ・ で  ・ で	<b>郵交島</b> 駅	· 请课山郡	・ハイや南	中旬	
48 站 44 河 自2 今点 門 法十44	川質貮コ主。もで解留スパズ。綿ま間市川買貳3市山塘、却熱系慈世					
(田	でまれらぬ末が計	郵交島酐	限四様锂小 業営川子・前 前前		中制	
(羽便増進特例を没	重、それところいてれぞ用はてして到手値移の云土常日の等部重・準重			李·田·森山 ·		
地域間幹線系統補助	・健風のへ面な個川みや他程小ら心特田平、〉ながも直接はご休田平。す	能衣鱼部			中日	
48 出 4 4 2 交 自 8 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ケ線路ス>バ2,結多間回川子・村川王・村田平・価種心、対熱系慈世					
	。 すまれる伤寒? 存計解の計重, そったくごろいて オ		54 NV B1 - 68			
地域間幹線系統補助	ち用はアJNS製手機等の学重のへ効学等高川G立具や效学等高川G	<b><u> </u></b>	現川 子	セミュー がい かい	中制	
	人去效学 11主。す下線路スパル諸多間 14田平・四川 3、 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
~月 01 辛 7 味令(用	移動手段として利用されていることから、運行の維持が< ボカンれます。		m=i			
(利便增進特例を浸	道がなく、古殿町から石川町方面への通勤・通学・通院等の日常生活の	<b>郵交島</b> 辭	セン・ 日コ・	修田寸	中県	
地域間幹線系統補助	終却コ吧鋼古。す∵解器スパズ。結호間で鋼古·IPIII 西、JI 線系慈芒					
(田	。すまれらぬ束が扶熱の計画、さかなこるいでれき用はてして段手値移	產交急辭	· 计算田車庫	<b>黎田貴</b> 计		
(利便增進特例を浸	道がなく、右殿町から石川町方面への通勤・通学・通院等の日常生活の				中事	
地域間幹線系統補助	接おコIII調古。すで解解スパズ、結ま間III顕古·IIIII 正 は 熱系慈芒					
	。专主北台《本》4科	重交高部	** 大四			
(사내 위기사 가지 계차 1후 (비) 과학의 시	継の計画、さんとこるいてれた用はてして殺手値移の活业常日の等制画			₩ <b>工</b> %	中事	
<b>d</b> 斯赫系 熟	・学風・(横風の~面古市川買貳や四百競さな林栄天,)なな直絶却31村		節 な 鳥 頭	・前覌川買亰	縣主命	中目
	栄天。すア線路スプバン・諸多間林栄天・四子麓・市川賀東、山蘇系慈芒					
(田	。ずまれらぬ束が待鉢繰行でしたらいることから、運行の維持が求められます。		車車以子	緣於爭		
(利便增進特例を浸	の記主常日の等割重、学重のされる地容易コ主。すで象路スパズ、誘き	<b>郵交島副</b>	<b>郵交易</b>			中事
地域間幹線系統補助	間此街市心中の市同3(個緊勇用) 図妣緊勇市川寶貳,却辦系慈世		· 油塊川質貳	由経師の木		
(玄毛合辦	移動手段として利用されていることから、運行の維持が求められます。	郵交島哥	車車以子	修公籍		
~目 01 辛 7 味令)	の記主常日の等剤腫、学氈のされ因地容易コ主。すて線路スパに、結ま		0.2104/0.007		中事	
地域間幹線系統補助	間此街市心中の市同ソ(西欧勇田) 刃妣 田子市川寶東, 却蘇系結出		· 備覌川買貳	中		
NATED AND STREET				(鬱忠)		
(宝千合辦	まれた仏束が特殊の計画、も、なることいろれまればなりを持事が表現を表現を	<b>郵交島</b>	· 前界川買真 重車 形 引	身由経田泉		
~月 01 年 7 時令)	で記ま常日の等詞画、学画のされる世界引主。もで解路スパに誘き			←) 櫞松子	中制	
祖蘇 請 幹 縣 桑 縣 輔 脚	間地街市の中の市同3(四応列目) 図地容易市川買原,却蘇系落岸			由發種田夬		
公区用式の業事加齢	各路線の役割及び確保・維持の必要性 (補助事業活用の必要性)	<b>宏星業</b> 畫	点殊·点廷	を練品	海 强	

10